

第6回放射線管理士セミナー

「原子力災害における診療放射線技師の役割」

～診療放射線技師・放射線管理士としての取り組み～に参加して

聖マリアンナ医科大学ブレスト&イメージングセンター

前里 美和子

日程：平成26年11月1日（土） 会場：山梨県立中央病院 多目的ホール

一般社団法人 山梨県診療放射線技師会放射線管理士部会・神奈川県放射線管理士部会主催による

第6回放射線管理士セミナーに参加しました。

<演題 1>

「神奈川県放射線管理士部会活動報告」神奈川県放射線管理士部会 会長 濱田 順爾

横須賀共済病院、濱田会長より、神奈川県放射線管理士部会の発足（平成13年6月）から現在に至るまでの活動報告がありました。最初の大きな活動は平成15年11月第8回横須賀市医師会災害訓練（原子力災害を想定した机上訓練）への参加で、翌年平成16年10月には横須賀三浦放射線技師会原子力災害特別派遣チーム（NASチーム）との共催で放射線災害時のスクリーニング作業の実際について（実践講習会）を開催しています。また、発足当時より放射線災害時におけるスクリーニングの実践講習会等を行う事と平行して、神奈川県放射線技師会の災害対策委員会が中心となり、県行政への協定、マニュアルの整備、身分証の発行、各施設長宛への協力依頼、緊急連絡網の整備を行ってきました。そして、福島第一原発事故による災害派遣の際は、県技師会主導の体制が整備されていたため、第1次隊12名中5名が神奈川から参加、10次隊にも2名参加しています。神奈川県放射線管理士部会の年間活動の柱は・教育訓練の開催・障害防止法に基づく放射線管理実務講習会、・横須賀スクリーニング講習会開催（NASチームとの共催）・管理士セミナーの開催（他県とのコラボ）・市民イベントへの参加で、今後の活動（展望）は・セグメント法の普及・コラボセミナーの継続・医療被ばく低減・市民啓発活動となっています。

<演題 2>

「山梨県と原子力事故について」

山梨県診療放射線技師会 放射線管理士部会 会長 佐藤 洋一

甲府共立病院、佐藤洋一会長より、山梨県の原子力防災への取り組みとして、モニタリングポストの設置と監視体制の整備。山梨を取り巻く環境の考察（原子力関連施設は無いけれども、日本は原発列島、近隣には浜岡原子力発電所がある）。浜岡原子力発電所の事故を想定して、風向きを一例にあげて被害を考え、・必要機材の使用に慣れる・普段からの準備、取り組みから有事の際の対応を検討等のお話がありました。

山梨県の診療放射線技師、放射線管理士の皆様との実習、意見の交換があり充実したセミナーでした。

今後も参加をしたいと考えております。

